



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場会社名 石原ケミカル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4462 URL <http://www.unicon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 時澤 元一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 直哉 (TEL) 078-681-4801
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	7,313	—	327	—	339	—	239	—
28年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 264百万円(—%) 28年3月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	32.13	—
28年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	19,092	15,610	81.8
28年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 15,610百万円 28年3月期 一百万円

(注) 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
29年3月期	—	16.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,600	—	590	—	640	—	440	—	58.98

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注2) 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期、対前年同四半期増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	7,460,440株	28年3月期	7,460,440株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	363株	28年3月期	363株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	7,460,077株	28年3月期2Q	7,460,117株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成29年3月期第1四半期より連結決算へ移行しました。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期累計期間及び前事業年度末との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要市場である電子部品業界におきましては、パソコン関連の需要減少に加え、新興国向けのミドルエンドからローエンドスマートフォンに押され、ハイエンド品の成長鈍化傾向が鮮明になってきております。

このような状況下、当社グループといたしましては、海外市場の開拓をさらに進め、高付加価値薬品を積極的に市場展開してまいりましたが、スマートフォンの生産調整の影響を受けました。

この結果、電子材料セグメント、自動車用化学製品等セグメント及び機器等は堅調に推移したものの、金属表面処理剤及び工業薬品セグメントは低調に推移し、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,313百万円、営業利益327百万円、経常利益339百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益239百万円となりました。

セグメント別の業績の概要は、次のとおりであります。

<金属表面処理剤及び機器等>

金属表面処理剤は、ハイエンドスマートフォン向け電子部品の生産減の影響を受け、先端電子部品用ウエハーバンブめっき液を中心に低調に推移いたしました。

一方、機器等の管理装置は、プリント基板およびタッチパネル向け市場において大口需要があり好調に推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、3,476百万円となりました。

<電子材料>

機能材料加工品は、半導体検査器具のテストソケット用などのエンブラ製品が好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、503百万円となりました。

<自動車用化学製品等>

エアコン洗浄剤の販売が、引き続き好調に推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、1,234百万円となりました。

<工業薬品>

環境関連の重金属固定剤が、競合他社の価格攻勢によりシェアダウンとなりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、2,099百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、金属表面処理剤におけるハイエンドスマートフォンの生産調整の影響が引き続きことが下期においても予測されることから、平成28年7月28日に公表いたしました数値を以下のとおり修正いたします。

平成29年3月期通期業績予想の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	15,350	790	850	610	81円77銭
今回修正予想 (B)	14,600	590	640	440	58円98銭
増減額 (B-A)	△750	△200	△210	△170	—
増減率 (%)	△4.9	△25.3	△24.7	△27.9	—

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より石原化美(上海)商貿有限公司の重要性が増したことにより連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

これによる、繰延税金資産及び利益剰余金に与える影響はありません。

当社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成28年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,476,282
受取手形及び売掛金	3,286,774
電子記録債権	374,683
有価証券	410,378
商品及び製品	466,301
仕掛品	85,934
原材料及び貯蔵品	369,330
その他	146,902
流動資産合計	7,616,587
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	1,927,279
その他（純額）	2,062,227
有形固定資産合計	3,989,507
無形固定資産	
無形固定資産	66,626
投資その他の資産	
投資有価証券	5,393,033
その他	2,030,289
貸倒引当金	△3,532
投資その他の資産合計	7,419,790
固定資産合計	11,475,923
資産合計	19,092,511
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,662,584
電子記録債務	562,461
1年内返済予定の長期借入金	24,000
未払法人税等	122,104
賞与引当金	186,000
役員賞与引当金	25,200
その他	324,458
流動負債合計	2,906,809
固定負債	
長期借入金	20,000
資産除去債務	38,512
その他	516,463
固定負債合計	574,976
負債合計	3,481,785

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成28年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,447,280
資本剰余金	1,741,909
利益剰余金	11,935,815
自己株式	△412
株主資本合計	15,124,593
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	499,474
為替換算調整勘定	△13,341
その他の包括利益累計額合計	486,132
純資産合計	15,610,725
負債純資産合計	19,092,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	7,313,960
売上原価	5,289,216
売上総利益	2,024,744
販売費及び一般管理費	1,697,136
営業利益	327,608
営業外収益	
受取利息	10,812
受取配当金	24,626
その他	14,763
営業外収益合計	50,203
営業外費用	
支払利息	771
為替差損	26,599
その他	10,809
営業外費用合計	38,180
経常利益	339,630
特別損失	
固定資産除却損	285
特別損失合計	285
税金等調整前四半期純利益	339,345
法人税等	99,668
四半期純利益	239,677
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	239,677

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	239,677
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	35,503
為替換算調整勘定	△11,013
その他の包括利益合計	24,489
四半期包括利益	264,167
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	264,167
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	339,345
減価償却費	198,250
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,000
受取利息及び受取配当金	△35,440
支払利息	771
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	1,089
為替差損益(△は益)	4,662
固定資産除却損	131
売上債権の増減額(△は増加)	△211,960
たな卸資産の増減額(△は増加)	△51,994
仕入債務の増減額(△は減少)	3,591
その他の流動資産の増減額(△は増加)	30,876
その他の流動負債の増減額(△は減少)	38,101
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△46,487
小計	278,937
利息及び配当金の受取額	35,301
利息の支払額	△771
法人税等の支払額	△62,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,621
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△56,000
定期預金の払戻による収入	50,000
有価証券の取得による支出	△450,328
有価証券の売却及び償還による収入	342,000
有形固定資産の取得による支出	△97,618
無形固定資産の取得による支出	△6,267
投資活動によるキャッシュ・フロー	△218,214

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成28年4月1日
至 平成28年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	350,000
短期借入金の返済による支出	△350,000
長期借入れによる収入	50,000
長期借入金の返済による支出	△13,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,215
配当金の支払額	△119,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,502
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,950
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△72,045
現金及び現金同等物の期首残高	2,148,327
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,076,282

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。